

## 平成 26 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 2 回研修調整部会 議事概要

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 平成 26 年 10 月 2 日 (木) 18 時 00 分～19 時 10 分  |
| 場 所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 D 病棟 1 階 多目的室   |
| 出席者 | 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長: 村田副病院長、多川看護臨床教育センター准教授)、大津赤十字病院 (副部会長: 山中第一呼吸器科部長、北川看護副部長)、滋賀県立成人病センター (吉田看護部副部長)、公立甲賀病院 (中村看護部看護師長)、彦根市立病院 (吉川診療局主任部長、木下外来科長補佐)、市立長浜病院 (田久保呼吸器外科責任部長、山岸看護局係長)、大津市民病院 (高見総合内科部長)、済生会滋賀県病院 (馬場病理診断科部長)、近江八幡市立総合医療センター (迫副院長、(随行者: 嶋田))、高島市民病院 (武田診療部外科科長、澤井外来診療看護師長)、滋賀県医師会 (大西理事)、滋賀県歯科医師会 (尾松常務理事)、滋賀県薬剤師会 (瀧川介護福祉委員会委員 (代理: 大西))、滋賀県放射線技師会 (平田常務理事)、滋賀県臨床検査技師会 (岩井副会長)、滋賀県歯科衛生士会 (玉井理事)、滋賀県栄養士会 (岩川副部長)、滋賀県健康医療福祉部 (要石健康医療課がん・疾病対策室室長補佐)、 |
| 欠席者 | 【部会事務局】 滋賀医科大学医療サービス課 (小林課長、浅井課長補佐) 滋賀県立成人病センター (副部会長: 財間副院長、嶋田主査)、公立甲賀病院 (山崎放射線科部長)、草津総合病院 (森谷頭頸部甲状腺外科センター長)、長浜赤十字病院 (中村医療社会事業部長)、東近江総合医療センター (辻川副院長)、滋賀県看護協会 (宮本常務理事兼教育部長)、   |

### 1. 議 題

#### (1) 平成 26 年度の取組の進捗について

##### ①がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について

研修会等の予定情報は協議会ホームページに掲載しており、変更、追加情報は随時受け付けて月末締めで毎月更新しており、今回から、研修会等の状況を判断していくために参加者数欄を追加した。今後、本部会の開催案内時に参加者数を報告していただくよう依頼することとしているので、協力していただくよう重ねて依頼した。

開催地域、分野ごとの講演会、研修会等の過不足を検討し今後の方向を見出ししていくために、開催医療圏別、対象者別、内容別に 9 月末現在でとりまとめた表をもとに議論した。

(大津医療圏) 乳がん、泌尿器がんが予定されていないので検討が必要である。

(甲賀医療圏) 院内研修等はあるが、甲賀圏域としてはまだ不足気味である。

(東近江医療圏) 拠点病院が大津にあるので地理的に困難な部分はあるが、支援病院において実施されているものもあり、今後、拠点病院と支援病院が連携しての事業も計画されている。

(湖東医療圏) 患者家族対象が皆無なので今後検討する。大腸がんが計画されていなかったため、大腸がんを選択して実施予定にしている。5 大がん以外に希少

がんも対象にすることも必要

(湖北医療圏) おりがみ教室等を多く開催している。5 大がん以外のがんの講習がないので検討したい。

(湖西医療圏) 徐々に開催を考えている。5 大がん、緩和、栄養、薬物等を考えていきたい。

この開催予定表を持ち帰って検討していただき、今後の開催の参考にさせていただくよう依頼した。

## ②看護作業部会が中心となっていくがん看護研修の実施について

今年度の看護 WG については、がん看護研修プログラムⅠとプログラムⅡ(実習)を行うことになり、プログラムⅠに関しては 5 医療圏で同じ内容のプログラム、研修科目で実施し、9 月 20 日に終了している。集計中ではあるが、5 医療圏で約 280 名が受講した。秋からは、プログラムⅠをすべて終了した人を対象に、プログラムⅡの実習を企画しており、定員 13 名のうち 9 名の申し込みがあり、受講していただくことになっている。

予定としては、プログラムⅡは、本年、来年、再来年と予定しており、合計 30 名程度の方に受講していただくことを目標にしている。

実習は、一般病棟 4 日間、化学療法 2 日間、放射線療法 1 日として、開講式、閉講式を含め、計 9 日間の講習にしている。

なお、放射線は、成人病センター、大津赤十字病院、滋賀医大病院で受講していただくことになっている。

## (2) 各団体の 26 年度の取組予定

### (滋賀県医師会)

12 月 20 日にピアザ近江において滋賀医学会総会が計画されており、がんの内容を入れていきたいと考えている。一部は日本医学会総会会頭の話があり、二部で県の鈴木先生にお話しいただき、その後のがんの内容を入れていきたい。

胃がん治療滋賀チームができるか等の問題提起をしてディスカッションをしていきたいと考えている。

### (滋賀県歯科医師会)

口腔がん検診、口腔ケアで取り組んでいる。

口腔がん検診については、希少がんでもあるので、市民、県民に対して啓発に取り組んでいく。

口腔ケアについては、DVD 研修を開催しており、多数参加いただき口腔ケア、医科との連携等、先行き明るいかなど感じている。DVD 研修受講者の登録制度を進めたい。

### (滋賀県薬剤師会)

滋賀県薬剤師会が独自に認定している在宅ホスピス認定薬剤師について、今回第 4 期を実施することになっている。1 期生から 2 期生まで計 60 名を認定しているが、1 期生、2 期生は 12 月末で更新時期に来ている。

病院薬剤師会主催、薬剤師会共催でがん薬物療法の研修を行っている。また今年度

から成人病センター主催、薬剤師会共催で5大がんのガイドラインにおける薬物療法の解説の研修を行う予定になっている。

(滋賀県看護協会)

部会員欠席

(滋賀県放射線技師会)

10月22日にMRの研究会を実施した。CTの研修会は一昨日実施して50名前後の方に参加いただいた。12月に乳腺の画像研究会を、1月25日には血液がんをテーマに、滋賀医大の程原先生が講師で一般の方も対象にした研修会を予定している。

(滋賀県歯科衛生士会)

3月1日に会員向けの講習会として、講師に東近江総合医療センターの瀬戸山先生をお迎えして開催することになっている。一般向けにはまだ、公開講座を開催できる状況ではないが、数年先には何らかの形で広げていければと考えている。

(滋賀県臨床検査技師会)

がん患者、一般市民、医療従事者全般向けに2回の公開講座を予定して、1回目は8月10日に予定したが台風の直撃で中止となった。第2回目は、11月16日にイオンモール草津で、検査と健康展と題して、顕微鏡で細胞を見ていただくとか血糖値を測っていただくとか検査相談コーナーを開設する等の内容で開催することになっている。

また、各市町村で実施される健康フェスティバルに進んで参加して、がんに関する啓発活動をし、いろいろなことを実体験していただくよう計画しており、10月18日には湖南市健康まつりで肺年齢測定等を、10月19日には大津市健康フェスティバルで血管年齢測定等を実施することになっている。

保険医療従事者向けとしては、滋賀医大を会場として、実標本を使用する講義とディスカッションを内容とした研修を計画している。

(滋賀県栄養士会)

ケモの副作用等で食べられない方の食支援について、病院勤務の栄養士は、それぞれの病院で、公開講座、講演会等で食事と栄養とか栄養相談とかの形で携わっている。

栄養士全体としては、11月にイオンモールで食と健康展が開催され、その中で、「がんを予防する食事」というコーナーを設けて一般市民への啓蒙ということでチラシを配布したりフードモデルを展示したりすることになっている。

(滋賀県)

がん検診の啓発ということで、がん検診従事者研修事業を今月予定している。

また、小児がんの理解を深める研修を先日実施し、11月には学校関係者を対象に研修を考えている。

その他就労に関する研修として、従事者向けの研修を11月と1月に実施する予定にしている。

さらに、2月8日に開催される滋賀県がん医療フォーラムのなかで、がんに関する県民への啓発を考えている。

### (3) PDCAサイクルの指標について

今年度は各部会において、PDCAサイクルを動かすため、適切な指標を最低1つ以上作り、それに基づいてPDCAを回すことになっている。

この研修調整部会において前回は議論をさせていただいたが、数字で評価できる指

標を作って、いろいろな研修の質をより高めていく取り組みをしていくことを目的とするものである。

前回にも出ていたが、研修会とか講演会であるので、基本的にはどれだけアクティブであったかということで、開催回数とどれだけの参加があったかということは必要だということで話がまとまって、開催回数を増やしていくことと、人数を把握していただくことをよろしく願いたい。

ただ、一方で、たくさん開催して、多くの参加があればよいかというと、質が担保されていないのでそれを測る指標が必要だろう。実施した側の意図が参加者にどれくらい伝わったかという指標がどうしても必要となる。

研修会ごとにいろいろなアンケートを取られていると思うが、アンケートの中に、役に立ったか（満足度）の項目を入れていただき、参加者数、開催回数とともに報告していただいて集計して、参加者のうち満足していただいた方が何パーセントだったというような数値をPDCAサイクルの指標にしてはと考えていた。

部会員から、対象者も項目も様々なので、細かいことまで決めるのではなく、最小限の項目（回数、受講者数、満足度）を決めておいて指標にすることについて賛成する。

5段階程度の階層付けをして、数値化すれば分かりやすい。等の意見があった。

以上より、研修調整部会としては、5段階で、参加者にどれだけ満足していただけたかということを経験とする方向で運営委員会に報告していくこととする。

#### （４）その他

滋賀県から、がん対策推進基金の活用方法について実施したアンケート結果等に関して次の概要説明があった。

昨年度、がん条例が制定されて、基金（1億円）として創設している。

基金事業としてどのような取り組みをするかということで、基金では①患者力の向上②生活と治療の両立③自主事業等主体的な取り組み等の主に共助の取り組みを推進することとしている。

27年度事業に向けて、本年の6月から8月にかけてアンケートを実施し、患者、市町、医療機関、医療関係団体などから次の分類ごとにアイデアの提案があり、紹介があった。

大分野1. がんの予防と早期発見

大分野2. 質の高いがん医療

大分野3. 患者・家族の苦痛の軽減と生活の質の向上

大分野4. 患者・家族を支える社会の構築

大分野5. がん対策の総合的な推進

全体で、94か所から120件の提案をいただいた。現在、分類抽出中で、予算化に向けて検討している段階になっており、効果的な取り組みをして、充実していきたい。

支援病院にも研修、相談機能の充実等、一定の予算を確保していきたいと思っているといるところであるが、現時点ではまだ公表はできない。

放射線技師会から、活動としては掲げていないが、とある地区の医師会から、検診

画像について、見やすい画像、適切な画像の要望があがっており、技師会の方から会員を派遣して活動する方向であるが、技師会として機器を持っていないので、会員が所属機関の機器を持参使用する状況になっている。これを解消するために、必要機器について要望を出したことの報告があった。

10月25日・26日に開催される「リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2014」の取り組みの説明があり、参加協力依頼があった。

・次回の本部会開催について、時間は午後6時からとして、日はあらためて調整することとした。

以上